

令和6年度

スギ人工林の再造林・広葉樹林化に関する研究：再造林樹種の検討

【神戸大学 森林資源学研究室（連携課：林産振興課）】

研究の目的（背景・課題・意義）

地球温暖化防止のためCO₂の吸収、固定、国土・生態系の保全の観点から、収穫期に達した成熟林を活用し、森林資源および森林の公益的機能を持続させることを目的とする。

研究内容・主な実施計画

- スギ人工林の資源量・炭素蓄積量の調査・把握
- スギ人工林における早生樹を中心とした持続可能な再造林方法の検討
 - ※社会経済活動と林業の生産周期を一致させる
 - ※多様な広葉樹を植栽しネイチャーファースト（生物多様性）に貢献する
- 植林後の食害対策をコスト面からの研究を実施する



• 収穫期に達した成熟林（スギ人工林）